

西消防署建替検討業務の結果について

今年度実施しました、西消防署建替に係る設計条件検討業務において、現地建替えが可能であることの確認が出来ましたので、次のとおり報告します。

1 西消防署建替設計条件検討業務結果

(1) 主な検討内容

① 必要諸室

- ・ 大規模災害等に対応する資機材の一括管理による出動体制の迅速化
➡緊急消防援助隊派遣に伴う資機材や特殊災害対応資機材など、現在、各署に分散配置している資機材を、一括管理できる倉庫を整備し、出動体制の迅速化を図る
- ・ 宇治市が被災した際の受援体制の整備(緊急消防援助隊等の受入)
➡応援部隊の受援時に、作戦室や宿営施設として活用できる諸室を整備し、体制の充実を図る
- ・ 女性消防職員用施設の整備(浴室・脱衣所・洗面所等)
➡隔日勤務の女性消防職員を複数名配置できる環境整備を行い、職域の拡大を図る
- ・ 大型化する消防車両の車庫スペースの確保
➡車両間に十分な間隔を確保したうえで、出動運用に応じた適切な車両配置ができる車庫スペースを確保する

② 建替計画(現在の敷地での建替の可否)

①の必要諸室を考慮したうえで、訓練塔や救急消毒室、待機室・仮眠室など、消防庁舎固有施設整備を現在の敷地(遊田線用地の活用含む)において仮設庁舎の建設を含めた建て替えが可能かを検討

(2) 検討結果

西消防署建替検討(設計条件検討業務)の結果、現在の出動体制を維持したまま、現在の敷地(遊田線用地の活用含む)において仮設庁舎を含めた建替えを行うことが可能

2 現地建替えについて

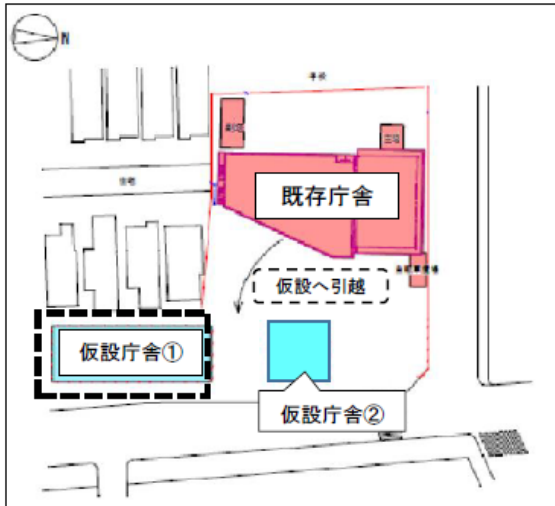
上記の結果及び次の状況等を総合的に勘案し、現地において建替えを実施

- ・ 西消防署の管轄地域の中心に位置し、概ね消防力の整備指針に示す出動から放水開始までの時間を満たす場所であるとともに、管轄地域の北側大部分が農地であるのに対して、南側は住宅が密集しているため、現地より北側への移動は適当でない
- ・ 府道へのアクセスが良く、災害出動に適している
- ・ 現在と状況に変わりがなく、周囲への安全性やサイレンによる騒音など新たな問題は生じにくい

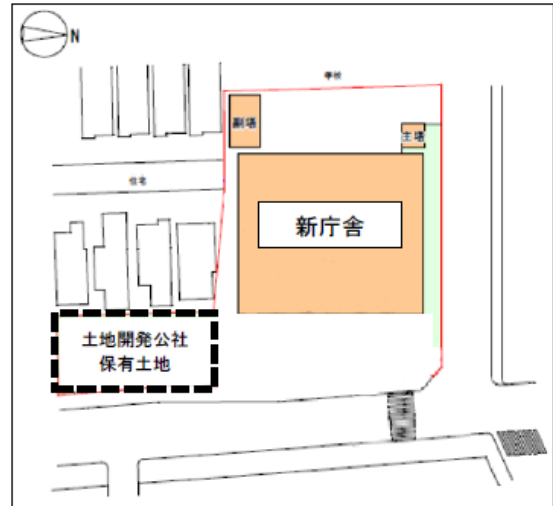
3 今後の予定

- ・ 令和8年度9月補正予算に現地測量・地質調査に要する経費を計上し、年度内に実施
- ・ 現地測量・地質調査の結果等を踏まえ、基本設計・実施設計に要する経費の予算措置を検討

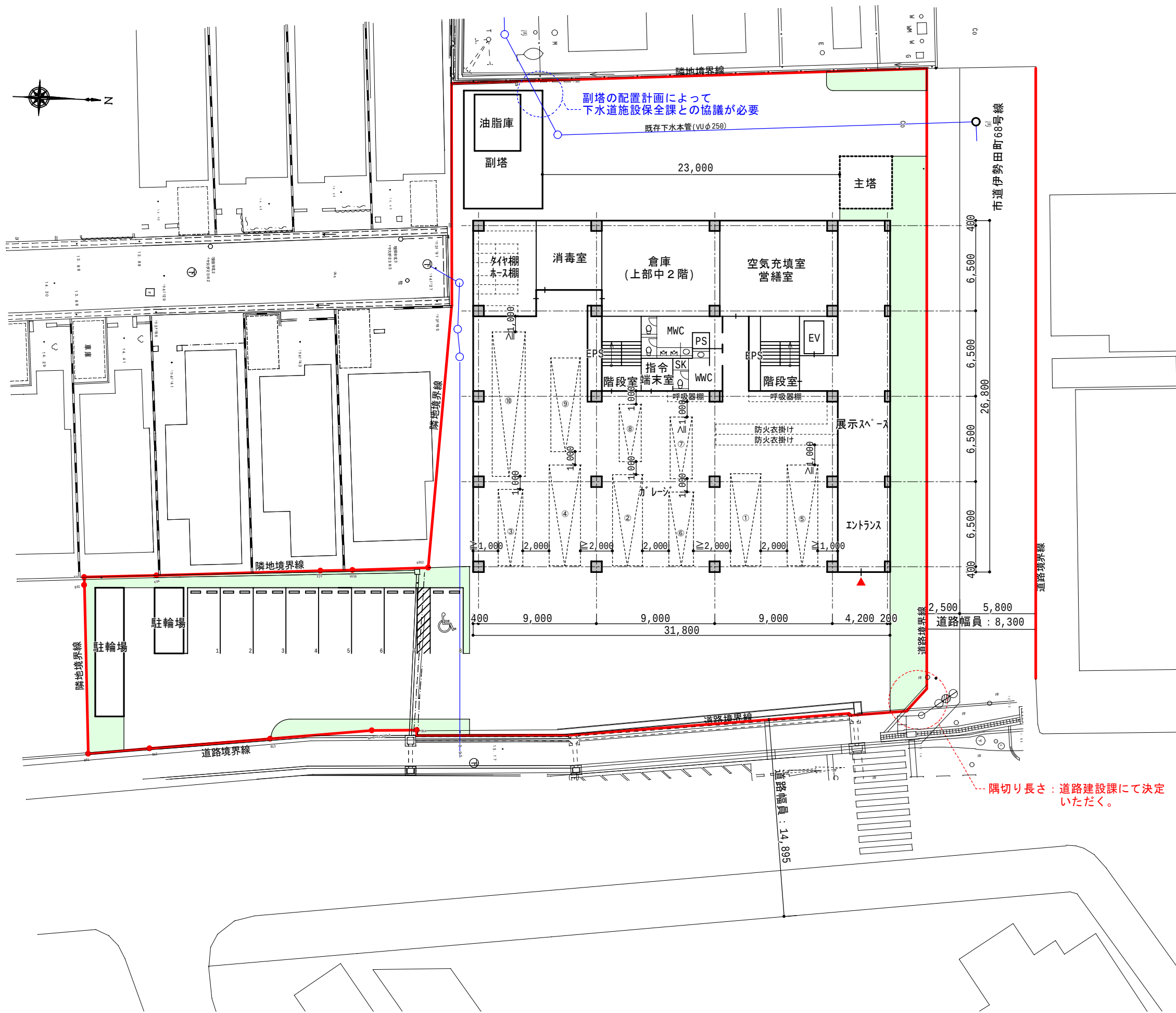
【仮設庁舎の対応(想定)】



【新庁舎の整備(想定)】







- 敷地概要
- | | |
|-------|---|
| 建設地 | : 宇治市伊勢田町遊田10-3, 10-5, 41, 42-1, 42-5, 88, 153, 153-4 |
| 地域地区 | : 第1種中高層住居専用地域 |
| 許容容積率 | : 200% |
| 許容建蔽率 | : 80% ※角地及び準防火地域による緩和規定の適応 |
| 防火地域 | : 準防火地域 |
| 敷地面積 | : 2,155.04㎡ (受領資料より) |
| 高度地区 | : 第2種高度地区 (最大高さ20m、真北:7.5m+0.6/1) |
| 日影規制 | : 高さ10m以上: 4H, 2.5H/4m |
| 前面道路 | : 14.895m(東側)、8.3m(北側) |
| その他 | : 宇治市まちづくり・景観条例 (G:市街地・田園・山麓・山間地区)
宇治市屋外広告物条例 |

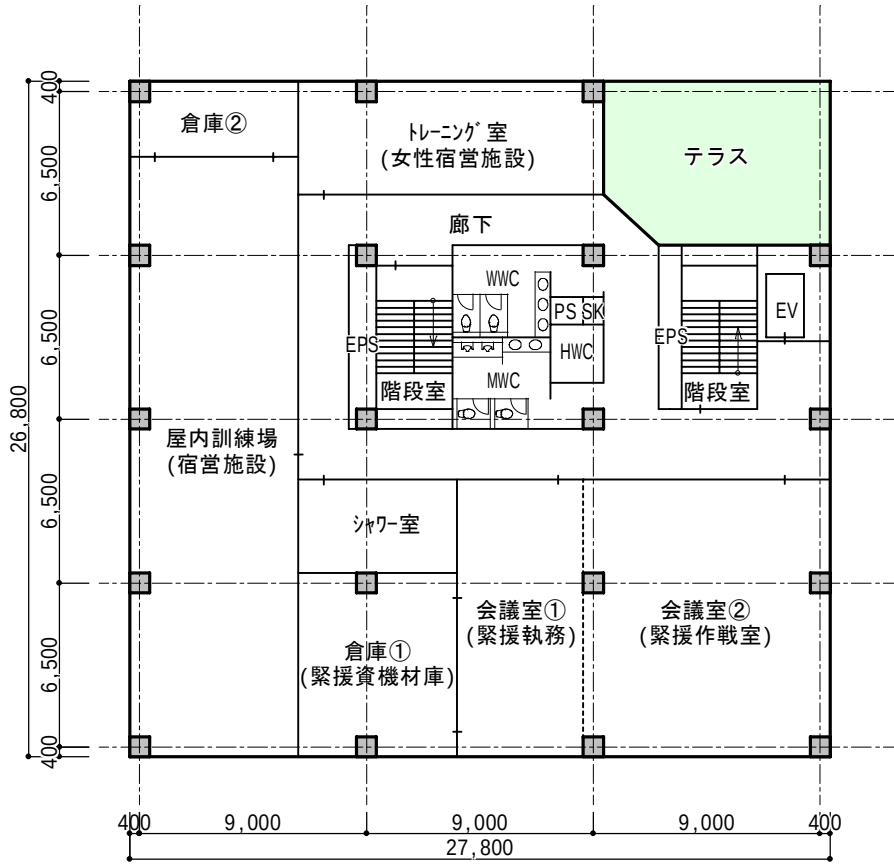
- 既存建物状況 (前願申請時(H7.12.26検査済証)より)
- | | |
|------|--------------------|
| 建築面積 | : 504.60㎡ |
| 延床面積 | : 943.67㎡ |
| 構造規模 | : 鉄骨鉄筋コンクリート造、2階建て |

- 計画建物
- 仮設
 - 事務所・車庫 : 延床: 845.88㎡、鉄骨造、3階建て
 - 車庫 : 延床: 76.50㎡、軽量鉄骨造、平屋建て
 - 本設
 - ・新庁舎
 - 建築面積 : 939.24㎡ (建蔽率: 43.6% < 80%)
 - 延床面積 : 2,553.76㎡ (容積率: 115.8% < 200%) > 与件面積2,000㎡程度
 - 1階: 852.24㎡, 中2階: 30㎡, 2階: 745.04㎡, 3階: 688.74㎡, PH: 27.74㎡
 - 副塔: 162㎡, 油脂庫: 15㎡, 駐輪場: 33㎡
 - 構造規模 : 鉄筋コンクリート造、3階建て
 - 最高高さ約14.00m (1階階高5.3m、2~4階階高4m程度想定)
 - ・訓練用副塔 : 鉄骨造(H=10m程度)
 - ・工作物 : 訓練用主塔 (H=15m程度)

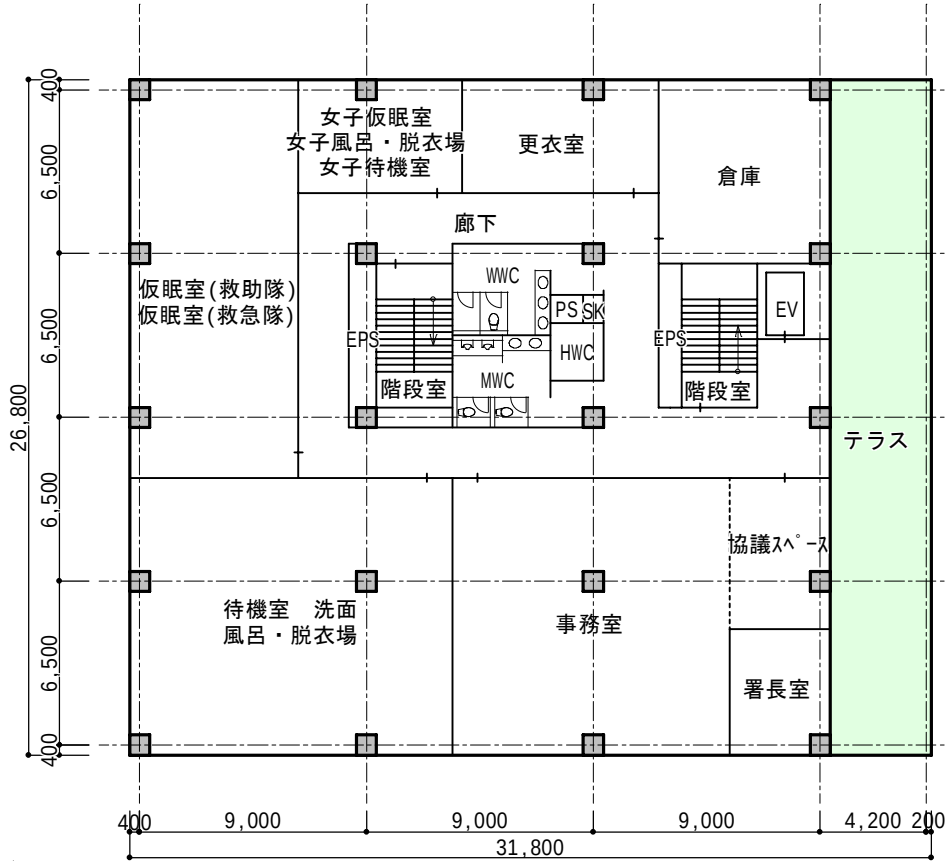
- 留意事項
- ・敷地面積は測量が未済のため、変更になる可能性があります。
 - ・開発要否については不要として事前相談をしています。
 - また、土地の造成は行わないものとして協議しています。
 - ・訓練塔について、主塔は工作物、副塔は建築物扱いとしています。
 - ・東側道路幅員は国土地理院地図からCADにて計測した幅員になります。
 - ・北側道路幅員は道路拡幅・歩道整備後の幅員となります。

配置兼1階平面図

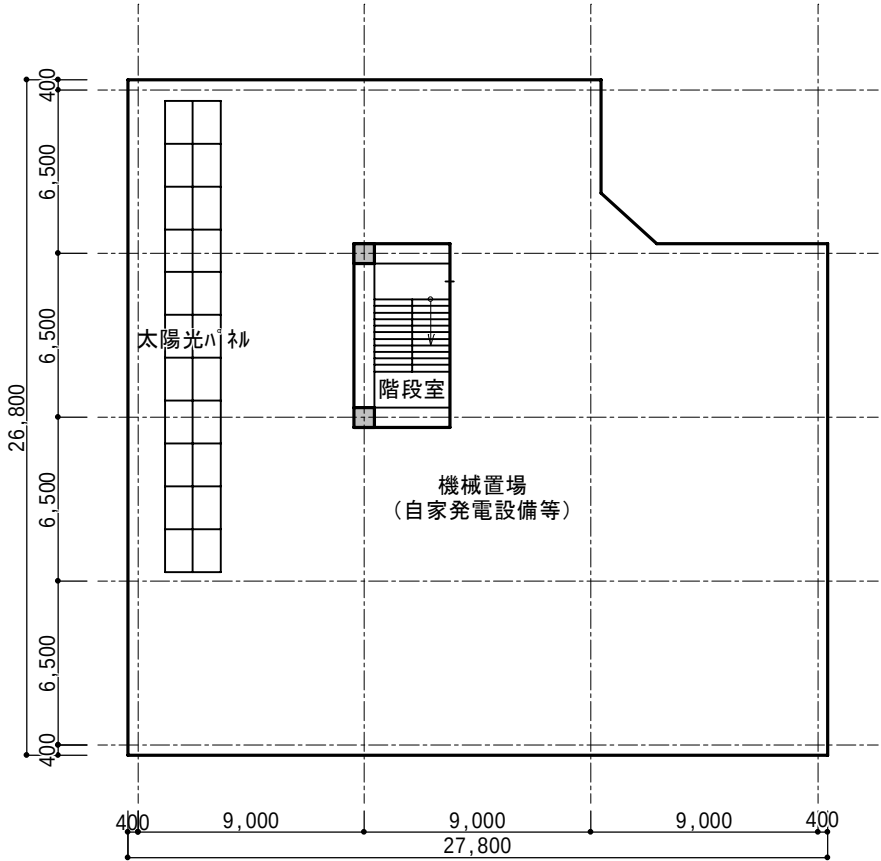
S=1/300



3階平面図

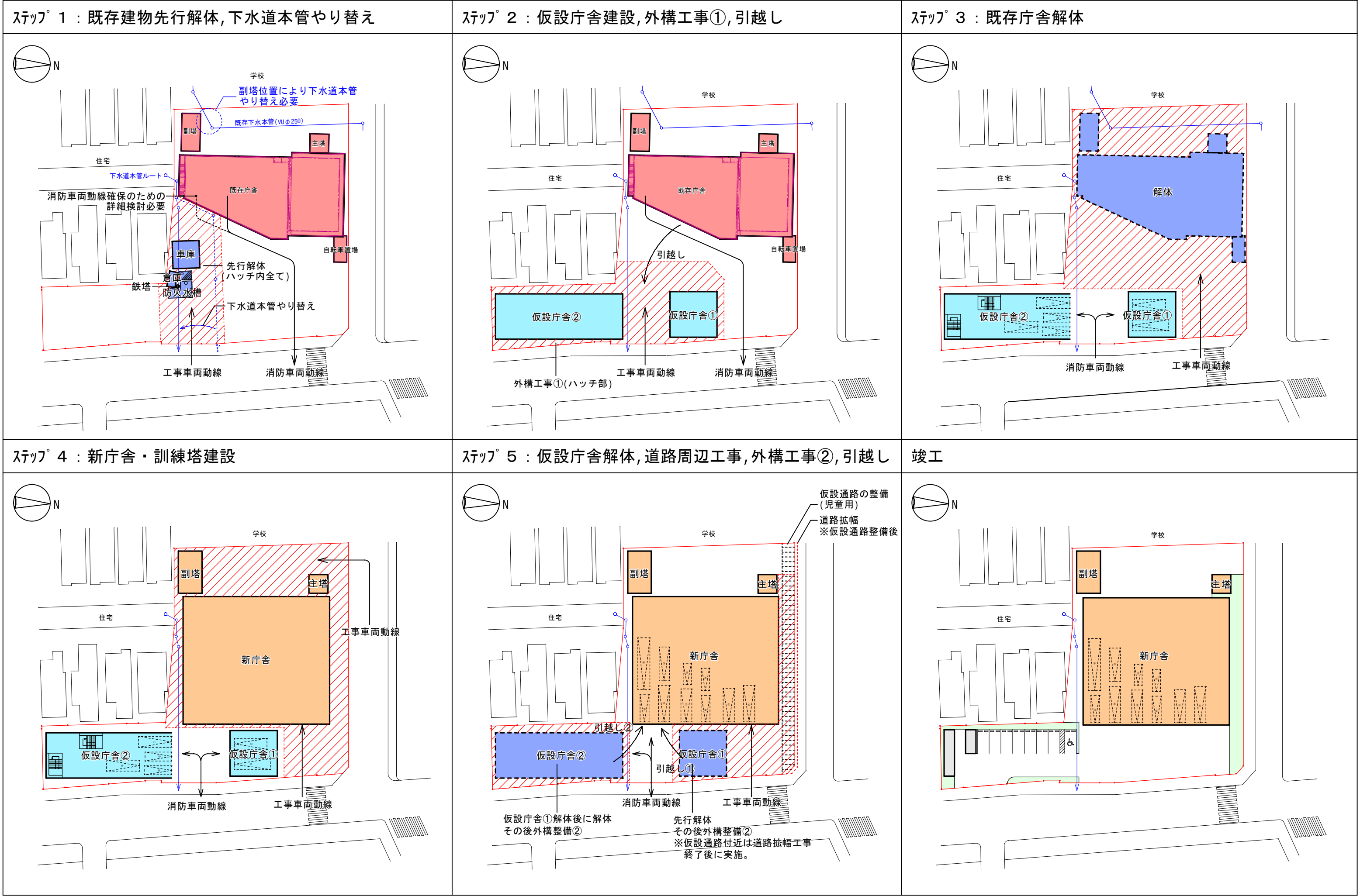


2階平面図



R階平面図

■諸元・面積表					
階	諸室名	必要面積	計画面積	面積増減	備考
1階	ガレージ	371.9 m ²	391 m ²	+19.1 m ²	消防車両11台、離隔距離
	ホース棚	35 m ²	35 m ²	-30 m ²	ホース棚(W 1m×D 0.8m×7個)
	タイヤ棚	30 m ²			タイヤ棚(W 1.7m×D 0.7m×7個)
	防火衣掛け	9.9 m ²	42 m ²	+20 m ²	防火衣掛け(W 1.38m×D 0.65m×11個)と呼吸器(W 1.1×D 1.1×10個)が収まるスペース
	呼吸器棚	12.1 m ²			
	空気充填室	6 m ²	66 m ²	+5 m ²	1室に集約
	営繕室	55 m ²			
	消毒室	25.4 m ²	27 m ²	+1.6 m ²	シンク・手洗い要
	指令端末室	6 m ²	6 m ²	±0 m ²	
	倉庫①～③	61.3 m ²	66 m ²	+4.7 m ²	1室に集約
	エントランス、展示スペース	— m ²	107 m ²	— m ²	
	トイレ	36 m ²	30 m ²	-6 m ²	
	EV	6 m ²	9 m ²	+3 m ²	ストレッチャー
	共用部	— m ²	73.24 m ²	— m ²	
2階	中2階	30 m ²	30 m ²	±0 m ²	
	署長室	20 m ²	20 m ²	±0 m ²	
	事務室	125 m ²	121 m ²	-4 m ²	29席程度を配置
	協議スペース	24 m ²	24 m ²	±0 m ²	協議席2つ、パーティション
	仮眠室(救助隊)	78 m ²	106 m ²	-2 m ²	1室に集約。救助隊用13、救急隊用5ブース分のスペース(6m ² /1ブース 通路込)
	仮眠室(救急隊)	30 m ²			
	更衣室(日勤)	36 m ²	36 m ²	±0 m ²	大ロッカー6つ
	風呂・脱衣場	31.8 m ²	141 m ²	-12.3 m ²	1室に集約。シャワーブース3～4
	待機室 洗面	121.5 m ²			ユニットバス1つ。洗濯機3つ
	女子仮眠室	12 m ²			3ブース分のスペース
	女子風呂・脱衣場	8 m ²	30 m ²	+2.7 m ²	ユニットバス1つ、洗濯機1つ、洗面
	女子待機室	7.3 m ²			
	倉庫①～③	54.9 m ²	50 m ²	-4.9 m ²	1室に集約
	トイレ	36 m ²	44 m ²	+8 m ²	HWCの配置(バリアフリー法)。
	EV	6 m ²	9 m ²	+3 m ²	ストレッチャー
	共用部	— m ²	164.04 m ²	— m ²	
	テラス	— m ²	107.2 m ²	— m ²	
3階	トレーニング室	51.9 m ²	55 m ²	+3.1 m ²	3階への配置。
	屋内訓練場	156 m ²	160 m ²	+4 m ²	「トレーニング」排水、シャワー室(27ブース)併設、パーティション
	シャワー室	— m ²	23 m ²	— m ²	
	会議室①	52 m ²	55 m ²	+3 m ²	
	会議室②	104 m ²	108 m ²	+4 m ²	
	倉庫①	50 m ²	46 m ²	-4 m ²	
	倉庫②	18.9 m ²	20 m ²	+1.1 m ²	
	トイレ	36 m ²	44 m ²	+8 m ²	
	EV	6 m ²	9 m ²	+3 m ²	ストレッチャー
	共用部	— m ²	168.74 m ²	— m ²	
	テラス	— m ²	56.3 m ²	— m ²	
PH	階段室	— m ²	27.74 m ²	— m ²	
屋外	油脂庫	15 m ²	15 m ²	±0 m ²	副塔1階部分。少量危険物の保管。
	主塔	120 m ²	80 m ²	-40 m ²	4m×4m、5層
	副塔	135 m ²	162 m ²	+27 m ²	6m×9m、3層
	駐車場	9台程度	8台	-1台	
	駐輪場	— m ²	33 m ²	— m ²	
	ごみ捨て場				



転がしステップ図